

平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年7月30日

上場会社名 株式会社アートネイチャー 上場取引所 JQ  
 コード番号 7823 URL http://www.artnature.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 五十嵐 祥剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 井上 裕章 TEL 03-3379-3334  
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月10日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,739	2.6	5	△94.9	66	△30.6	△504	-
22年3月期第1四半期	6,570	△2.6	107	△39.1	95	△63.6	38	△65.0

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	△30	64	-	-
22年3月期第1四半期	2	32	2	31

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
23年3月期第1四半期	24,592		14,757		60.0	908	33	
22年3月期	26,125		15,859		60.7	960	31	

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 14,754百万円 22年3月期 15,857百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計					
	円	銭	円	銭	円	銭				
22年3月期	-		25	00	-		25	00	50	00
23年3月期	-									
23年3月期(予想)			25	00	-		25	00	50	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	14,506	5.0	1,104	92.4	1,164	120.1	36	△83.5	2	18
通期	30,115	3.0	2,658	12.5	2,759	16.8	883	△20.6	53	52

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

23年3月期1Q	16,515,600株	22年3月期	16,514,700株
23年3月期1Q	272,111株	22年3月期	2,111株
23年3月期1Q	16,468,414株	22年3月期1Q	16,501,260株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在までに入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 「資産除去債務に関する会計基準」の適用により、四半期純損失となりました。詳細については、【添付資料】3ページ「2. その他の情報（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) その他注記情報 .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間における我が国経済は、昨年度後半からの一部企業の業績回復や政府消費刺激策による耐久消費財の消費の持ち直し等により、景気回復の兆しが見え出したものの、欧州の信用不安や米中景気の先行き懸念から、本格的な回復には至っておりません。また、当社グループの属する毛髪業界については、業界全体の売上高は減少傾向にあると予想されるとともに、競合する発毛事業や薄毛に対する医薬品の普及等、周辺業界を含む業界内外での競争は激しく、依然として厳しい環境が続いております。

このような状況のもと当社グループでは、2期連続減収減益からの脱却を目指し、「製造・販売一体となったお客様満足の追求」、「新業態・新販売チャネルへの積極的な取組み」を実施するとともに、受注拡大のための積極的な広告宣伝の展開、展示試着会の開催等の諸施策を実施いたしました。

この結果、当第1四半期連結会計期間の売上高については、6,739百万円(前年同四半期比2.6%増)となりました。しかしながら、受注拡大のための広告宣伝費の支出増加等により営業利益5百万円(同94.9%減)、経常利益66百万円(同30.6%減)となりました。また、当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」の適用により、過年度費用を特別損失に431百万円計上したこと等により、四半期純損失504百万円(前年同四半期は38百万円の四半期純利益)となりました。

セグメント別の売上高は以下のとおりです。

#### (男性向け売上高)

男性向け売上高については、お客様担当の強化、販売員のスキル向上による営業力の強化等の諸施策を実施し受注数の増大を図りましたが、オーダーメイドかつら、その他商品、サービス収入ともに前年同四半期を上回る事ができず、売上高は4,240百万円(前年同四半期比2.5%減)となりました。

#### (女性向け売上高)

女性向け売上高については、効果的な広告宣伝活動、展示試着会の積極的開催による新規売上の増加、着実な女性顧客の増加によるリピート売上の増加等により、オーダーメイドかつら、その他商品、サービス収入ともに前年同四半期を上回ったため、売上高は2,360百万円(同8.8%増)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### [財政状態の変動状況]

##### (総資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ1,532百万円減少し、24,592百万円となりました。これは、法人税等の納税や配当金の支払等の支出が当第1四半期に集中したため、現金及び預金が減少したこと等により流動資産が1,832百万円減少した一方、有形固定資産の増加等により固定資産が300百万円増加したことによるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ430百万円減少し、9,835百万円となりました。これは、未払法人税等の減少等により流動負債が1,271百万円減少した一方、当第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」の適用により、将来の原状回復費用を「資産除去債務」として889百万円を計上したこと等により、固定負債が840百万円増加したことによるものです。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,101百万円減少し、14,757百万円となりました。これは、配当金の支払、当第1四半期連結会計期間での損失計上により利益剰余金が917百万円減少したこと、自己株式206百万円を取得したこと等によるものです。

#### [キャッシュ・フローの状況]

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、11,501百万円と前連結会計年度末比2,069百万円減少しております。

当第1四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況及びそれらの要因は、次のとおりです。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

減価償却費174百万円、資産除去債務に関する会計基準適用による影響額431百万円、賞与引当金の増加252百万円等があった一方、税金等調整前四半期純損失368百万円、仕入債務の減少139百万円、法人税及び住民税の支払1,160百万円等により、1,141百万円の資金支出(前年同四半期は701百万円の資金収入)となりました。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出116百万円、無形固定資産の取得による支出30百万円等により144百万円の資金支出(前年同四半期は268百万円の資金支出)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

社債の償還による支出204百万円、自己株式の取得による支出206百万円、配当金の支払363百万円等により780百万の資金支出(前年同四半期は799百万円の資金支出)となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の業績予想につきましては、平成22年5月13日に発表いたしました業績予想から変更ありません。

## 2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益及び経常利益はそれぞれ10,323千円減少しており、税金等調整前四半期純損失は442,310千円増加し、四半期純損失は624,367千円増加しております。

また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は876,999千円であります。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,485,964	11,555,775
受取手形及び売掛金	—	1,232,009
売掛金	1,318,311	—
有価証券	2,015,327	2,014,974
商品及び製品	704,746	745,323
仕掛品	35,350	44,146
原材料及び貯蔵品	323,724	326,072
繰延税金資産	475,341	450,351
その他	637,755	460,333
貸倒引当金	△1,504	△1,132
流動資産合計	14,995,018	16,827,853
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,251,282	2,823,912
その他（純額）	1,867,066	1,879,474
有形固定資産合計	5,118,349	4,703,387
無形固定資産		
のれん	33,372	44,494
その他	585,440	610,616
無形固定資産合計	618,812	655,111
投資その他の資産		
その他	3,929,043	4,008,105
貸倒引当金	△68,539	△69,206
投資その他の資産合計	3,860,504	3,938,899
固定資産合計	9,597,666	9,297,397
資産合計	24,592,684	26,125,250

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	111,097	250,350
短期借入金	10,300	9,900
1年内償還予定の社債	—	204,000
未払法人税等	74,652	1,220,861
前受金	3,520,979	3,601,107
賞与引当金	963,252	711,068
役員賞与引当金	25,000	100,000
商品保証引当金	26,768	14,557
ポイント引当金	13,595	—
その他	1,879,038	1,783,839
流動負債合計	6,624,684	7,895,684
固定負債		
退職給付引当金	1,327,783	1,258,285
役員退職慰労引当金	884,128	998,006
資産除去債務	889,465	—
その他	109,360	114,111
固定負債合計	3,210,737	2,370,403
負債合計	9,835,421	10,266,088
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,999,340	2,999,205
資本剰余金	2,886,840	2,886,705
利益剰余金	9,101,425	10,018,769
自己株式	△206,622	△612
株主資本合計	14,780,983	15,904,066
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,276	△878
為替換算調整勘定	△25,228	△46,013
評価・換算差額等合計	△26,504	△46,892
少数株主持分	2,784	1,987
純資産合計	14,757,262	15,859,162
負債純資産合計	24,592,684	26,125,250

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
売上高	6,570,162	6,739,931
売上原価	1,978,847	1,969,968
売上総利益	4,591,315	4,769,962
販売費及び一般管理費	4,483,698	4,764,497
営業利益	107,616	5,465
営業外収益		
受取利息	2,998	9,105
為替差益	9,407	—
投資有価証券評価益	—	24,585
受取販売奨励金	14,364	—
その他	14,539	41,641
営業外収益合計	41,310	75,332
営業外費用		
支払利息	6,559	505
為替差損	—	4,758
投資有価証券評価損	40,911	—
支払保証料	—	4,307
その他	5,781	4,861
営業外費用合計	53,252	14,432
経常利益	95,674	66,365
特別利益		
固定資産売却益	316	297
投資有価証券売却益	93,949	—
貸倒引当金戻入額	471	667
特別利益合計	94,736	964
特別損失		
固定資産除却損	6,497	719
会員権評価損	—	3,050
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	431,987
特別損失合計	6,497	435,756
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	183,913	△368,427
法人税、住民税及び事業税	143,940	52,191
法人税等調整額	1,608	84,908
法人税等合計	145,548	137,100
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△505,527
少数株主利益又は少数株主損失(△)	143	△998
四半期純利益又は四半期純損失(△)	38,221	△504,528

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	183,913	△368,427
減価償却費	190,716	174,084
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	431,987
のれん償却額	13,158	11,122
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,155	△295
賞与引当金の増減額(△は減少)	242,312	252,136
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△75,000	△75,000
商品保証引当金の増減額(△は減少)	△14	12,210
ポイント引当金の増減額(△は減少)	—	13,595
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45,136	68,177
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,561	△113,878
受取利息	△2,998	△9,105
支払利息	6,559	505
固定資産除却損	6,497	719
固定資産売却損益(△は益)	△316	△297
匿名組合投資損益(△は益)	△7,123	△7,891
投資有価証券売却損益(△は益)	△93,949	—
投資有価証券評価損益(△は益)	40,911	△24,585
会員権評価損	—	3,050
売上債権の増減額(△は増加)	140,068	△85,528
たな卸資産の増減額(△は増加)	72,974	54,891
仕入債務の増減額(△は減少)	△40,939	△139,914
前受金の増減額(△は減少)	236,638	△80,127
その他	△138,464	△100,661
小計	831,797	16,768
利息の受取額	2,998	3,359
利息の支払額	△10,176	△1,093
法人税等の支払額	△122,917	△1,160,693
営業活動によるキャッシュ・フロー	701,702	△1,141,659
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△175,289	△116,529
有形固定資産の売却による収入	426	1,817
無形固定資産の取得による支出	△36,626	△30,104
長期貸付金の回収による収入	1,810	901
敷金及び保証金の差入による支出	△86,623	△19,378
敷金及び保証金の回収による収入	27,933	19,219
その他	—	△267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△268,368	△144,342

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△300,229	—
社債の償還による支出	△136,000	△204,000
リース債務の返済による支出	—	△7,324
株式の発行による収入	1,080	270
自己株式の取得による支出	—	△206,392
配当金の支払額	△363,973	△363,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△799,122	△780,671
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,818	△2,785
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△350,969	△2,069,457
現金及び現金同等物の期首残高	12,882,936	13,570,750
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,531,966	11,501,292

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) その他注記情報

重要な後発事象

当社は、平成22年7月19日付にて、当社の連結子会社であるビコール ヘア エクスポート コーポレーションの解散を決議いたしました。

当連結子会社の概要は以下のとおりであります。

(1) 解散の理由

当社グループの生産拠点の一つとして主にオーダーメイドかつらの製造を行ってまいりましたが、昨年1月に稼働開始した当社子会社であるアートネイチャー マニュファクチャリング フィリピン インクでの生産活動が常軌化したことから、当社グループ全体での経営効率・生産効率の向上を実現するため

(2) 当該子会社の名称、事業内容、持分比率

名称：BICOL HAIR EXPORT CORPORATION (ビコール ヘア エクスポート コーポレーション)

事業内容：かつら製品の製造

持分比率：94.5%

(3) 解散の時期

平成22年7月22日 当該子会社における臨時株主総会にて解散決議

平成22年8月31日 当該子会社解散日 (予定)

(4) 当該子会社の状況、負債総額

所在地：フィリピン共和国 アルバイ州 レガスピー市

代表者：代表取締役社長 萩原隆典

設立年月日：1989年5月11日

資本金：27百万円

負債総額：65百万円

(5) 当該解散による会社の損失見込額

解散に伴う損失見込額は軽微であります。

(6) 当該解散が営業活動等へ及ぼす影響

解散に伴う営業活動等への影響は軽微であります。